

参考資料2

令和4年度第1回ヤクシカWG合同会議における主な意見・助言等に対する今後の取組方向(案)

課 題		主 な意見・助言等	関 係 機 関	回 答 等
議事(1) ヤクシカの生息状況等について	①令和3年度ヤクシカの生息状況について	ヤクシカ密度ポテンシャル図について、上限値を50頭にした図を別途作成すると捕獲計画等、立てやすくなる。(八代田委員)	鹿児島県	作成を検討したい。
議事(2) 捕獲等の被害防止対策について	②鹿児島県のヤクシカ対策について	必要捕獲数と捕獲実績は過年度のものも含めて示してほしい。(鈴木委員)	鹿児島県	今後は資料に含めることとする。
	③シカによる森林被害状況の推移	皆伐地に設置したシカ柵は年数が経過。メンテナンスとモニタリングの継続が重要。(八代田委員、手塚委員)	林野庁	主に下刈と併せて下刈が上がる時期までに点検とメンテナンスを実施している。
		皆伐地の面積があまり大きくないが、今後は全国的に主伐が進むので、屋久島ではどういった方針か。(八代田委員)	林野庁	屋久島における主伐については、公益的機能の持続的発揮と地域社会の持続的発展との両立を考慮した上で、主に複層林施業を進めていく考えである。
議事(3) 森林生態系の管理目標及びその他植生モニタリング等	①森林生態系の管理目標に関する現状把握・評価について	低地照葉樹林の保全に関して、ヤクシカWGの中でも検討してほしい。また、関係機関の取組状況を教えてほしい。(手塚委員)	環境省	種の保存法の生息地等保護区を想定して、保護区域の検討を行っているが、国有林であることから、実際にどの保護地域がよいか、林野庁と調整している。
			林野庁	対外的に区域は明示せず、保護林に設定するといったことができないか検討している。
議事(4) 特定エリアの対策(西部地域)	①西部地域における令和3年度の捕獲結果	性・齢クラスの撮影頭数にある2月3月の幼獣は前年生まれ、5月6月の幼獣は当年生まれになるので、別に示したほうがよいかも。 (鈴木委員) 密度変化や活動量の高い3月～7月の方が捕獲に向いていると思う。今後は季節性も考慮した上で、捕獲時期の見極めを行ってほしい。(濱崎委員)	◎環境省 林野庁 鹿児島県 屋久島町	今後、当年度生まれの幼獣を分けて示すようにする。 植生や観光利用状況等踏まえ、関係機関と検討を進めていく。
		西部地域の個体数管理区では、集中的な調査はしていないため、捕獲地点の変更は可能だと思う。ただ、捕獲目標と捕獲数について研究者への説明は必要。(杉浦委員)	環境省	別途、研究者に説明する機会を設ける。
議事(5) 屋久島世界遺産地域管理計画に基づく管理状況の評価について	①屋久島世界遺産地域管理計画に基づく管理状況の評価について	評価指標No.12の林床部の希少種・固有種の分布・生育状況については、個体数が少なく自生地が限られ絶滅が心配される種が幾つかあるので、評価は非適合+悪化ではないか。(手塚委員、矢原座長)	◎環境省 林野庁	ご意見を踏まえて、再整理する。
		元々の基準が甘かったということではないか。それは評価の色だけ変えても経年的な比較はできない。基準の妥当性については、別の論点として整理しなければならない。(松田委員)	◎環境省 林野庁	ご意見を踏まえて、モニタリング計画の改訂に反映していく。

令和4年度第1回ヤクシカWG合同会議における主な意見・助言等に対する今後の取組方向(案)

課 題	主 な意見・助言等	関 係 機 関	回 答 等
議事(6) 今後のヤクシカ管理方針等について	①全島的な捕獲の戦略について	国有林の林道だけでなく、公道を使った捕獲も考慮が必要。また道路沿いだけに限定しない方がよい。牧場等、開けた場所でも行っていくのであればそれに適した捕獲の仕方もある。(濱崎委員、鈴木委員)	◎環境省 林野庁 鹿児島県 屋久島町 将来的には、関係機関と調整していくことで公道を活用した捕獲も検討していくべきと考えている。
		上屋久町区域でも捕獲数が多い場所があるため、シャープシューティングを検討できないか。(大堀委員)	環境省 山岳部施設の維持管理等で利用頻度の高い林道が多く、調整に時間を要することが想定されるため、今年度の計画に入っていないが、今後の実施箇所として考慮していきたい。
		有害捕獲数は多いため、有害捕獲の実施場所を整理した上で今後の捕獲計画を検討した方がよい。(八代田委員)	◎環境省 林野庁 鹿児島県 屋久島町 関係機関と情報共有を図り、実施箇所について検討を進めていく。
		絶滅危惧植物保全の視点が弱い。安房川流域の安房林道等、絶滅危惧植物の多い場所での捕獲も検討してほしい。(矢原座長)	◎環境省 林野庁 鹿児島県
		河川界区分8の林道は、西部林道からはカンカケ岳の高い尾根で隔てられているので、西部地域のサルの研究にはあまり影響がないと思われる。また、希少な植物も生育するため、捕獲はよいと思われる。(多数委員)	環境省 林野庁 鹿児島県 屋久島町 捕獲に向けて、関係機関での調整を進めていく。